

Ⅱ 年間指導計画

本校のめざす学校像	学校の命は授業である。 授業づくりが学校教育活動の中心となる学校を目指す	学校教育目標	心身共に健康で、自ら学び共に生きる子どもの育成
育てたい生徒像	神津魂(かみつのほこり) 神津を愛し、神津を誇る子ども ・自ら学び共に生きる子 ・豊かな心を育てる子 ・健康な生活ができる子	いじめ問題対策委員会：校長 教頭 生徒指導主事 各学年主任 養護教諭 *状況に応じて関係職員等も含めて編成	

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ問題対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成 職員会・特別部会 ※1	いじめ実態把握調査 ※5 → 道徳・特別活動計画に反映	生活実態アンケート ※2 学級懇談会・個人状況把握 ※3 家庭訪問 ※4	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。
5月	事業発生時、緊急対応会議の適時開催(通年) 保護者向け啓発(ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会 ※6	人間関係づくり 転地学習、自然学校 修学旅行、遠足 ※7		危機管理の心構え「さしせそ」 さ:最悪を想定する し:慎重に対処する す:素早く対処する せ:誠意を持って対処する
6月				
7月	いじめの実態把握のためのア		個人懇談・個人状況把握	※1 職員会・特別部会 毎月の職員会・特別部会でいじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。 ※2 生活実態(いじめ)アンケート 年度当初、1、2学期末に状況把握と同時にいじめの実態把握のアンケートを実施する。 ※3 個人懇談・学級懇談会／個人状況把握 年度当初、学期等の区切りごとに個人懇談・学級懇談会を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の児童状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。 ※4 家庭訪問 担任が年度当初におこなうとともに教職員が課題に応じて随時おこなう。 ※5 いじめ実態把握調査 児童、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。 ※6 保護者向け啓発／研修 ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。 ※7 学級づくり／人間関係づくり 1学期、2学期を通して、クラスの人間関係づくりについて学習する。 ※8 カウンセリングマインド研修 スクールカウンセラーの指導のもと効果的な研修を実施する。
8月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有	カウンセリングマインド研修 ※8	命の学習参観・懇談会	
9月		人間関係づくり		
10月		運動会	学級懇談会・個人状況把握	
11月	保護者向け研修会 ※6	音楽会 ※7		
12月	いじめの実態把握のためのア		個人懇談・個人状況把握	
1月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成		人権同和参観・講演会	
2月		図工展	学級懇談会・個人状況把握	
3月	いじめ問題対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	次年度に向けクラスづくり		